

**授業概要**

教育心理学についての基本的な知識や概念を体系的に理解し、基礎的知識を習得させる。教育心理学を通じて、人間の発達、動機づけ、学習方法、集団力学といった古典的内容からいじめ、不登校といった学校不適應問題、また、ごく最近の話題である子どもの貧困、多様性などへの関心を持ち、理解を深めるように講義する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション（授業のねらいと内容の概観）
第 2 回	発達とは何か
第 3 回	発達と教育（人間は変わる）
第 4 回	学習の基礎（発達段階・レディネス）
第 5 回	学習理論の展開と特徴
第 6 回	性格形成と教育の役割
第 7 回	学級集団の教育心理学的意義
第 8 回	集団の発達について考える
第 9 回	集団不適應の諸相
第 10 回	不適應から適應へと導くには
第 11 回	社会的スキル教育の理論と実際
第 12 回	特別支援教育とは何か
第 13 回	多様化する障害について理解する
第 14 回	障害のある子どもの指導と支援の方法
第 15 回	学校内における連携、学校外機関との連携の実際
第 16 回	試験

**到達目標**

- ・教育心理学の基本的な知識や概念を理解し、説明できる。
- ・将来、社会人として生きていく上で、学習した内容を生かすことができる。
- ・学習を通じて、教育心理学や心理学に興味を持つことができる。

**履修上の注意**

- ・予習、復習を必ずしたうえで、授業を受けること。
- ・グループワークを取り入れます。グループ毎に発表します。
- ・教育心理学はもちろん、心理学を学習する意欲があること。

**予習・復習**

・授業中に、次回の学習範囲を伝えるので、テキストの該当箇所を3回音読してから授業に臨むこと。復習も授業で学んだことを頭に浮かべながら再び教科書を3回読む。黙読ではなく、音読すること。

**評価方法**

評価基準は授業中の集団議論と意見発表(3割)、授業中に指示するレポート課題の提出(3割)、期末試験(4割)である。

**テキスト**

安齊順子・荷方邦夫（編）『「使える」教育心理学』（北樹出版）